



## 臨床検査科

5名の臨床検査技師が、病気の診断・原因追究、治療効果判定、健康診断などの臨床検査をの生体内情報を正確、迅速に、医師に行い、患者提供する役割を担っています。



当院の検査科の良いところは、「慢性期病院でも、検査のことは基本的にすべてできる」こと、「大学院で勉強しながら仕事ができる」ことです。私も現在、**当院の奨学金制度**を利用し、**大学院に通っています**。



患者さんに安心安全な薬物療法を支援しています。  
**病棟に赴くことも多く、看護師や医師との密な連携**も行っています。  
穏やかで落ち着きのある部署なのも、魅力の1つです。

## 薬剤科

薬剤師が、内服、外用、注射薬の調剤、医薬品情報管理を行っています。病棟では処方薬、副作用などのモニタリングに取り組んでいます。



## リハビリテーション科

専門のリハビリテーションスタッフが、身体機能の回復・維持に向けプログラムを立案し、個別リハビリテーションを提供しています。



現在、PT10名・OT6名・ST1名で業務しています。  
当院では最も**若手スタッフが多い**部署で、活気と元気に満ち溢れています。**実習も多く受け入れ**、学生さんの出入りが多いのもポイントの1つです。

## 放射線科

病院診療業務や健診業務において、X線一般撮影、X線透視検査、CT検査等、様々な撮影や検査に対応しています。



現在、男性女性1名ずつの計2名で業務に励んでいます。

少人数部署ですが、女性が検査を受けに来た際は女性職員が、男性なら男性職員が担当するように心遣いを大切に業務を行っています。

病棟にも日々赴き、患者様の撮影等も行っています。



当院の栄養科の最大のポイントは、嚥下食や個別対応にも力を入れ、管理栄養士と調理師が協力しながら安心・安全な食事を提供していることです。

また、多職種と連携して日々の食事にも愛情込めて作っています。

## 栄養科

管理栄養士が、栄養状態の維持・向上のため、個々のミールラウンドを行い、多職種と連携を取りながら栄養介入を行っています。



## 臨床工学科

医師の指示のもと生命維持管理装置や医療機器の操作・保守・点検を行っています。



3名の臨床工学技士が、安全な医療を提供するため、多職種と協力し業務に取り組んでいます。

透析室に常住し、透析患者様とも関わります。

病棟からの医療機器の不具合の連絡にもすぐにかかけつけ、対応します。



入院患者様ひとりひとりの口腔ケアをおこなっています。一人部署で大変ですが、看護師や介護職員とも連携をとりながら口腔ケアの取り組みを一緒に行っています。

## 口腔衛生科

歯科衛生士が、口腔機能の向上による健康の維持・増進、誤嚥性肺炎の予防と早期の在宅復帰のため、サービスの一環で、「専門的な口腔ケア」を提供しています。

